



あま かわ べ
天の川辺

教育目標 心を磨き、体技を磨き、夢・志をもって挑戦し続ける自分をめざそう
～努力を積み重ねる誠実さと情熱、しなやかな心で、可能性は無限大～

目指す生徒像 自分の将来に夢を抱き、自分の力を社会に生かそうとする志をもった双中生

双葉中学校ホームページ
はこちら



先輩に感謝の気持ちを込めて「三年生を送る会」

2月22日(金)に、生徒会主催で生徒集会NSD(伸びろ、双葉、大作戦)が開催され、お世話になった三年生の先輩に向けて、後輩からお礼のメッセージを贈りました。集会では、生徒会長の小川さんのあいさつの後、双中宣言「人権宣言」、「交通安全宣言」、「SNS宣言」を全校生徒で唱和しました。そして、各部活動ごとに後輩から多くのメッセージが伝えられました。

心にしみるあたたかいメッセージや、ユーモアあふれた演出など、全校生徒で先輩への感謝の気持ちと感動を、ともに共有することができた素晴らしい時間でした。

短い間でしたがありがとうございました。

先輩の姿は僕たちの目標でした。

たくさん話しかけてくださって嬉しかったです。

ありがとうございました。

やさしく教えてくれてありがとうございました。

先輩の活躍を応援しています。

先輩たちのおかげで楽しく部活を続けられました。

先輩たちも新しいステージで頑張ってください。



表彰おめでとう! (裏面もご覧ください)

◆第52回滋賀県アンサンブルコンテスト地区大会

管打7重奏 銀賞 吹奏楽部

◆第19回中部日本個人・重奏コンテスト滋賀県大会

金管五重奏 銅賞 吹奏楽部

◆わた SHIGA 輝く国スポ・障スポカレンダーイラストコンクール 中高の部

最優秀賞 3年 前川斐奈子さん、佳作 3年 村瀬平悟さん



表彰おめでとう!

◆第70回滋賀県教育美術展「立体の部」

特選 3年 木谷莉緒さん

入選 1年 粕淵智喜さん、伊藤清秋さん、

2年 粕淵一華さん、長谷川ゆいさん、奥村颯良さん

3年 前川斐奈子さん、北村尚貴さん、成川 迅さん



募金活動へのご協力に感謝

2月26日(月)、坂田・息長小、双葉中の児童・生徒の代表が、各校の募金活動で集まった能登半島地震義援金を社会福祉協議会の方に届けました。近江の子どもたちが協力して、被災された皆さんの気持ちに寄り添い活動できたことはかけがえのない経験となることでしょう。今後、滋賀県共同募金委員会を通じて被災された皆さんに子どもたちの思いが届けられる予定です。

義援金 81,568 円
が集まりました



新入生体験授業

新入生の皆さんが、中学校で体験授業に参加しました。教科ごとに分かれ、実験や作品づくり、タブレットを使った授業などさまざまな活動に取り組みました。小学生の皆さんが、夢と志をもって入学されることを、教職員一同楽しみに待っています。



受検を控えた3年生の皆さんへ～JAXAに学ぶ～

1月、日本宇宙航空研究開発機構(JAXA)が、月着陸機「SLIM」を月面に着陸させ、日本は、世界5番目に月面着陸に成功した国となりました。このような中で、JAXAは、2月中旬に国産大型ロケット「H3」2号機の打ち上げに成功しました。まさに、日本の新しい宇宙開発の時代が開かれた瞬間でした。

実は、初挑戦だった「H3」1号機は、昨年3月、エンジンの不具合により打ち上げられなかったのです。プロジェクト責任者の岡田匡史さんは、当時、ショックでしばらく動けなかったそうです。それ以降、岡田さんは多くの難題を背負いながらも打ち上げ失敗の原因を探り、プロジェクトの立て直しのため努力を続けました。2号機の打ち上げ成功の瞬間、岡田さんは重圧から放たれ、「出口のない夏があった。《あの闇夜を抜けてよかったね。》と自分に言いたい。」と話されました。出口が見えない時間は、誰もが不安で、しんどくて、投げ出したくなるものです。でも、続けてきた小さな努力は、のちに、自分自身を信じてがんばれる「自信」につながっていくのです。『無駄に見える努力の繰り返しの方が、たまにしか訪れない決定的な瞬間よりずっと深い意味を持つのだ。』(湯川秀樹 日本で初めてノーベル賞を受賞した科学者) 初挑戦から成功までの間、苦しみとプレッシャーの中で努力を続けた岡田さんの姿が、これから受検に向かう3年生の皆さんの励みになればと願います。写真: NHKニュース 参照: 湯川秀樹『目に見えないもの』講談社学術文庫



放課後学習教室に励む3年生